

聖人ナームデーヴについて

ナームデーヴ(1270 -1350 年)は、仕立屋の家庭に育った、マハーラーシュトラ州の最も著名な詩聖の一人です。マラーティー語で書かれた彼の多くのアバンガ、献身の歌は、神の普遍性、グルを持つことの重要性、神の名前をチャンティングすることの力、そして精神的な道を歩む者にもたらされ得る内なる体験を称賛しています。

聖人ナームデーヴは、シャイヴァ(彼のグルは古代のナートの系統出身)であり、ヴァイシュナヴァ(彼はヴィッタール神を崇拝)でもありました。彼は模範的な生活を送り、彼の家族全員——妻、4人の息子、2人の娘、そして召使いのジャーナーバーイー——が、神を知る者として認められていました。

